

政策・施策・事業整理票

科学技術・
学術政策局

<政策>

政策目標	科学技術・学術政策の総合的な推進
概要	科学技術と社会との調和に配慮し、国民、地域、国際等の視点に立ち、科学技術・学術政策を総合的に推進する。



<施策>

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのか分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	イノベーション創出に向けた産業連携の推進及び地域科学技術の振興
施策の概要	産学官連携システムの構築や大学等の研究成果の実用化等により、科学技術イノベーションを創出し、被災地の復興、再生に貢献するとともに広く社会・国民へ還元する。
達成目標1	科学技術イノベーション創出を行う環境の整備に向けて、大学、公的研究機関、産業界、地方公共団体等が広く連携する産学官連携活動を推進する。
達成目標2	大学等の研究成果について、産学官金の多様な関係者の連携により実用化を促進する。
達成目標3	大学等の革新的技術シーズの実用化により、被災地の復興、再生に貢献する。



<事業>

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム	
事業の目的	長期的な観点からイノベーションの創出のために特に重要と考えられる先端的な融合領域において、産学の協働により、次世代を担う研究者・技術者の育成を図りつつ、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点を形成する。	
事業概要	イノベーションの創出のために特に重要と考えられる先端的な融合領域において、参画企業(協働機関)とのマッチングにより、新産業の創出等の大きな社会・経済的インパクトのある成果(イノベーション)を創出する研究開発を行う拠点を形成の支援を行う。実施期間は原則10年であるが、当初の3年間は拠点の本格化に向けた絞り込みのための期間として位置づけられており、3年目に再審査を行い、1/3程度に絞り込みを行うこととなっている(年間5~7億円程度(間接経費除く)の定額補助。協働機関から間接経費を除く経費の総額と同等以上のコミットメントを求めている)。	
本事業と施策の関係	科学技術イノベーション創出を行う環境の整備に向けて、大学、公的研究機関、産業界等が広く連携する産学官連携活動の推進を達成するため、本事業では、長期的な観点からイノベーションの創出のために特に重要と考えられる先端的な融合領域において、参画企業(協働機関)とのマッチングにより、次世代を担う研究者・技術者の育成を図りつつ、新産業の創出等の大きな社会・経済的インパクトのある成果(イノベーション)の創出に向け、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点を形成に対して支援を行う。	
アウトカム	定量的な成果目標①	毎年度の中間評価および事後評価において、 世界的な拠点を形成した割合(=A以上の評価を受けた拠点の割合)が毎年度50%以上
	成果指標①	中間評価及び事後評価において、世界的な拠点を形成した割合(=A以上の評価を受けた拠点の割合) ※中間評価は平成24年度、事後評価は平成28年度以降に外部評価委員によって実施
	定量的な成果目標②	毎年度の中間評価および事後評価において、 世界的な拠点を形成したもののうち、特に優れた拠点の数(=S以上の評価を受けた拠点の数)が毎年度1拠点以上
	成果指標②	中間評価及び事後評価において、世界的な拠点を形成したもののうち、特に優れた拠点の数(=S以上の評価を受けた拠点の数) ※中間評価は平成24年度、事後評価は平成28年度以降に外部評価委員によって実施
	アウトプット	先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム実施拠点数
本事業の成果と上位施策との関係	中間評価及び事後評価においてA以上の評価を受けた拠点の割合について50%以上を維持しており、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点が形成され、新産業の創出等の大きな社会・経済的インパクトのある成果(イノベーション)を創出しつつあることを示しており、科学技術イノベーション創出を行う環境が整備され、大学、公的研究機関、産業界等が広く連携する産学官連携活動の推進に寄与している。	

